

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DPL高槻新築工事	階数	地上4階
建設地	大阪府高槻市	構造	SRC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	220人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,608時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2023年8月21日
敷地面積	16,567㎡	作成者	東急建設(株)一級建築士事務所
建築面積	8,389㎡	確認日	2023年8月21日
延床面積	33,133㎡	確認者	東急建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外の 72%
④上記+ 72%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	3.3
温熱環境	2.2
光・視環境	2.4
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	3.2
耐用性	3.1
対応性	4.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	4.1
地域環境	3.5
周辺環境	3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	耐用年数の長い材料の使用、更新のしやすさを考慮したゆとりのある階高、平面空間、設備配管スペースを確保、及び節水器具の積極的採用により環境に配慮した計画とした。	その他
Q1 室内環境	アルミサッシはT-2とした。事務室内は床・天井に吸音仕様とした。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化率12%、空地率49.14%
LR1 エネルギー	BPIm値=0.63、BEIm値=0.42	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率48.30%
Q2 サービス性能	空調換気ダクトの腐食しやすい箇所にステンレスダクトを用いている。 事務所天井高は2.8mとした。	
LR2 資源・マテリアル	節水型水栓金具の採用及び節水型便器の採用。 躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。(LGS下地+石膏ボード仕上) 化学物質排出把握促進法の対象物質を含有しない建材種4つ以上ある。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-変-0011

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	DPL 高槻新築工事						
	建設地	大阪府高槻市梶原						
	用途/区分	事務所 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.1	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		